

第 1 回 湖南省行政改革懇談会 策定調整部会 概要(令和 3 年 2 月 2 日開催)

出席者：新川部会長、田中副部会長、石井部会員、園田部会員、戸簾部会員
事務局：井上総務部長、森村総務部次長、
行財政改革・ICT推進室 青木室長、森岡室長補佐、伊原室長補佐

1. 懇談会の意見を受けての修正について

※第 3 回行政改革懇談会（1/8）での意見を反映した行政改革大綱（素案）に
ついての意見

- ・全体的な文面について、表現の修正等の指摘。・・・「ICT」、「情報通信技術」の表記の統一、抽象的な表現の修正等。
- ・表などのデータを最新のものに変更を。
- ・「具体的な取組例」は実施計画の頭出しの項目としてなら意味があるが、そうでなければ不要ではないか。
- ・東庁舎の関係「こういう方向で考える」と明記したほうがいいのではないか。
- ・これからの課題の中で、市内の製造業はコロナの影響はもう受けていない。復活している。
- ・まちづくり協議会等の位置づけは市長の考えを勘案したものになっているか。
- ・第 1 の政策の 1、の具体的な取組例が 2 つあるが、切り分けられていない。
- ・「これからの課題」は「新たな課題」としてはどうか。
- ・SDGs 未来都市に選定されてこの方向に進んでいくと思うが、どの柱にも SDGs が全く出てこない。
- ・市民・事業者・地域団体、行政が協働してやる、という大きな方向付けを施策レベルで考える。表現する時に、もう少し具体的な取組の施策方向まで出しておく
と分かりやすいのではないか。
- ・市政情報の共有について、情報共有して何をするのか。
- ・デジタルについて、具体的な取組としては、行政そのものの生産性が上がっている状態をどう作って行くか。
- ・行政事務の改革はデジタル化と重なってくるので、再掲でデジタル技術ということ
を強調してもいいのではないか。
- ・具体的な取組、頭出しというのはしっかりしておいた方がいいのではないか。
- ・広域連携では、協議会や組合などでやっていることの具体的な事務への切り込み
のようなことも頭出ししておいた方がいいのではないか。

- ・財政の健全化で収入の確保があるが、新しい収入確保方法を探すとしっかり書いておくべきでは。
- ・大綱には数値的なことの記載はしないのか。

2. 中間提言（案）について

※事務局案を提示し、それに対する意見

- ・内容について、デジタル社会の推進や民間活力の活用など、3つの柱すべてで記述しているものではないので、1つの段落は不要ではないか。
- ・中間提言の取扱いについて、懇談会から出すのが「素案」となり、パブリックコメント等で広く意見を求めるものになるのか。または、懇談会で意見をもらった案について市としてそれを中間としてパブリックコメントをするのか。整理をすべき。